



2021年11月12日

各位

会社名 マックスバリュ東海株式会社
 代表者名 代表取締役社長 兼 神尾啓治
 社長執行役員
 (コード番号: 8198 東証第二部)
 問合せ先 取締役兼執行役員 高橋 誠
 経営管理本部長
 (TEL. 053-421-7000)

業績予想及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、2021年11月12日開催の取締役会において、下記の通り、最近の業績動向を踏まえ、2021年4月9日に公表した2022年2月期の連結業績予想及び期末配当予想を修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(金額の単位: 百万円)

2022年2月期通期連結業績予想数値の修正（2021年3月1日～2022年2月28日）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	346,000	9,600	9,400	4,250	117円07銭
今回修正予想 (B)	351,000	10,000	10,000	5,700	157円00銭
増減額 (B-A)	5,000	400	600	1,450	
増減率 (%)	1.4	4.2	6.4	34.1	
(ご参考) 前期通期実績 (2021年2月期)	355,904	11,726	11,744	5,302	146円07銭

2. 業績予想修正の理由

国内事業においては、コロナ下での内食需要の継続や根強い節約志向に対し、時間帯ニーズに応じた売場の構築や得意日の強化、小容量の品揃えなど、「基本の徹底」をキーワードに各施策に取り組んだほか、既存店舗及び新店においても計画を上回り推移しているため、営業収益、営業総利益は計画を上回る見通しとなりました。また、キャッシュレスセルフレジの導入、多能工の推進など業務効率の改善が進み、営業利益、経常利益は期初予想を上回る見通しとなります。

さらには、親会社株主に帰属する当期純利益については、解散及び清算を決議している連結子会社の永旺美思佰樂（江蘇）商業有限公司の過去に計上されている出資金評価損について、清算業務に目処がついたことから、法人税等調整額（益）914百万円の計上を見込んでおります。

以上の理由により、2021年4月9日発表の業績予想を上記の通り修正いたします。

3. 配当予想の修正

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2021年4月9日発表)		50円00銭	50円00銭
今回修正予想		57円00銭	57円00銭
当期実績	0円00銭		
前期実績 (2021年2月期)	0円00銭	50円00銭	50円00銭

4. 配当予想の修正の理由

当社は、中長期的な成長を目指し、設備投資計画、フリー・キャッシュ・フローの状況等を勘案しつつ、経営成績を反映させた配当性向の目安を30%に置くとともに、株主の皆さまへの安定的な利益還元を図ることを経営の重要な課題として位置付けております。

上記の業績予想の修正及び中長期的な財務状況や経営環境などを総合的に勘案した結果、2022年2月期の期末配当において、1株当たり7円増配して年間配当金を57円に修正することといたしました。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上